

b-lab通信59号



b-lab通信とは？

目白台図書館での OneDay b-lab マナビ場編の様子

2015年4月にオープンした中高生向け施設「文京区青少年プラザ b-lab」の運営や、活動をお知らせするため、区内の中学校・高等学校等の教職員の皆様及び b-lab にご協力頂いている方々に向けて発信する広報誌です。

ごあいさつ

気づけばそれぞれの門出を祝う季節になりました。今年度は様々な制限が徐々に緩和され、b-lab でも地域や企業と連携したり、サークルが立ち上がったり、b-lab の内外に中高生の活動の場が広がった一年でした。今号では、特に中高生の姿が印象的だった活動についてお伝えしたいと思います。

b-lab×地域連携

今年は徐々にコロナの感染状況が落ち着き、b-lab の中高生が b-lab の外でも活躍してくれています。2月に行われたコミュニティプラザでは、ウクレレ部、b-lab ダンスサークル、工芸ダンスサークルの3団体（総勢24名！）が出演し、たくさんの観客が注目する中、堂々としたパフォーマンスを見せてくださいました！その他にも司会や照明を b-lab の中高生が担当し、会場を盛り上げてくれました。



また、b-lab が地域に出張する『OneDay b-lab』も今年度初めて実施しました。b-lab からの距離が遠い地域に住んでいて、まだ b-lab に来館したことのない中高生に b-lab を知ってもらうきっかけになりました。すぐには来館に繋がらなかったとしても、「何かあった時にはここがある」「b-lab という選択肢もある」という安心感をもってもらえたと思います。さらに、去年の夏に行われた「文京ワカモノ未来 PROJECT」のデザイン編に参加してくれた高校1年生の女の子が中心となって、b-lab がもっと親しみやすく活気あふれる場になるようにオリジナルキャラクターを作ってくれています。今後も、地域のお店とのコラボを通じて、デザイナーの仕事をしてみるなど、継続的な活動を中高生と一緒に続けていきたいです。

b-labサークル活動報告



今年度から始まった「好き」をベースに仲間と共に活動する b-lab サークルは、現在、10 個のサークルが設立され、活動しています。中でもイラストサークルや水引サークルは b-lab で年3回行われるフェスに作品を展出したり、ダンスサークルやウクレレサークルはフェスのみならず、地域の発表会などに出演したりするなど b-lab 外での活躍も見られるようになりました。一方で、継続的な活動ができないサークルや、サークルに入っただけで活動に参加しないメンバーがいるという状況も見られるようになりました。来年度は、サークルメンバーの中高生とより活発にコミュニケーションを図り、サークル活動の活性化を通じて、b-lab が中高生の活躍と成長の場となっていくようにスタッフ一同尽力していきたいと思います。